

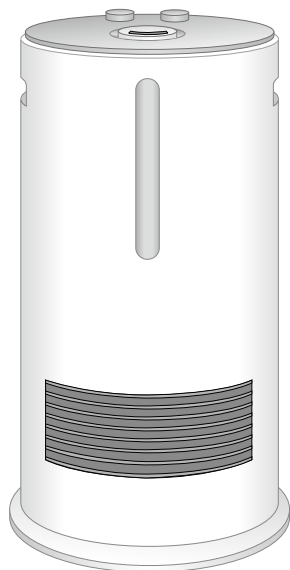


加湿セラミックファンヒーター DKF-L121

取扱説明書

もくじ

保証書付



- 安全上のご注意……………①～③
- 知っておいていただきたいこと……④
- 各部の名称……………⑤～⑥
- 準備……………⑦
- 使いかた……………⑧～⑨
- お手入れ……………⑩～⑪
- 保管……………⑫
- 故障かな?と思ったら……………⑫
- 点検……………⑫
- よくあるご質問……………⑬
- 仕様……………⑬
- アフターサービスについて……………⑭
- 保証書……………裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社加湿セラミックファンヒーターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害のに結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制禁止(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用したり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。



禁止

吹出口やすき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。

警告



不安定な場所に置かない

振動によって転倒すると水がこぼれ、ショートや感電の原因になります。



電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くで使用しない

加湿によって湿気をおびたり、転倒によってこぼれた水で、感電・故障・発火の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電けがをすることがあります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



衣類などを掛けたり、吹出口、吸気口をふさがない

過熱や火災の原因になります。



スプレー缶や燃えやすいものの近くで使用しない

カーテンの近くや、机の下など周囲を囲まれた場所での使用もおやめください。過熱や火災の原因になります。



温風を乾燥など他の用途に使用しない

過熱して発火することがあります。



温風を就寝中や外出中は使用しない

寝具などが触れたりして火災の原因になります。



使用中や使用直後は高温部に触れたり、お手入れをしない

温風吹き出し口付近などに触れるとやけどの原因になります。



異常時（水漏れ、コゲくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。



排水するときは、カバー・水タンク・ダクト・抗菌カートリッジを外し排水方向に従って排水する

排水方向を間違えると、本体内部に水が入り、ショート・感電・火災の原因になります。

注意



電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

プラグを持って抜く

断線やショートして感電・故障・発火の原因になります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



浴室や屋外で使用しない

禁止

感電やショート・発火の原因になります。



吸気フィルターを外して使用しない

禁止

故障の原因になります。



ペットの暖房用に使用しない

禁止

ペットが本体やコードを傷め、火災の原因になります。



熱に弱い台や電気製品等の上に置かない

転倒して感電・ショートの原因になったり、本体底部の熱により、変色・変形の原因になります。



使用中や水タンク・トレイに水が入った状態で移動したり、動かさない

水が入っているときは、傾けたり揺らしたりすると、水がこぼれ床が濡れる原因になります。



水タンクにお湯(40℃以上)、化学薬品、汚れた水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターなどを入れない

禁止

水道水以外は使用しないでください。故障や雑菌の繁殖の原因になります。



運転中に電源プラグを抜かない

禁止

本体の変形や、故障の原因になります。



タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

本体内部は常に清潔に保ち、こまめに清掃してください。汚れや雑菌で悪臭の原因になったり、まれに体質により過敏に反応し健康によくありません。
※この場合、医師に相談してください。



水タンクやダクト・吹出しノズルを外して加湿しない

禁止

振動子を触って感電したり、噴霧が広がって故障や床を濡らす原因になります。



寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・トレイの水を捨てる

水タンクが割れたり、故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

【当機の特徴】

当機は、加湿機能と暖房機能を同時に使ったり、別々に使うこともできます。ご使用の目的によって使い分けてください。

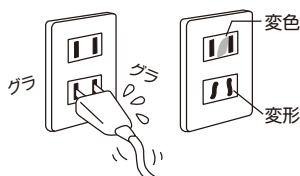
【安全・快適にお使いになるために】

- 吹出口から出る霧を吸い込んだり、顔に当てないでください。健康を害するおそれがあります。
- お手入れは、こまめに行ってください。(P10~11を参考にしてください)

特に内部に水あかなどがたまりますと、故障や悪臭の原因になります。

- 毎日水を入れ替えてください。水が腐敗して悪臭の原因になります。
- 移動するときは、水タンクを取り出し、本体を傾けないように静かに運んでください。
- 本体内部のトレーに直接水を入れないでください。感電・故障の原因になります。
- 水タンクのキャップは確実に締めてください。また、水タンクを本体に入れるときには、水漏れがないかを確認してください。水漏れがある場合は使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コンセントの差し込みがゆるくなっていないか(コンセントの老朽化)、タコ足配線をしていないか、またプラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。ゆるくなったコンセントは使用しないでください。電源プラグの刃が変形している場合や、コードにキズがある場合などは、使用を中止して、修理をご依頼してください。

【コンセントの点検】 次のようなコンセントは、早めの交換をしてください。



- 電源プラグが軽く差し込めたり、すぐに抜けてくる。
- 変色していたり、変形している。

※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むとき、多少力が必要で、差し込んだ後もぐらぐらしません。

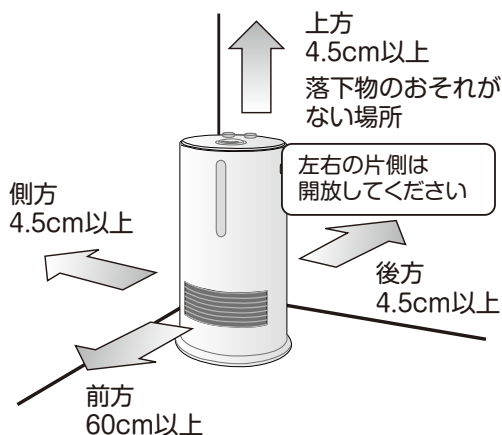
【設置】

- 周囲から右図のように離して設置してください。
- 次のような場所に設置しないでください。故障などの原因になります。

- ・傾いたり不安定な場所
- ・電気製品や精密機器などの近く
- ・直射日光の当たる場所
- ・洗濯物の下、カーテン、布団、新聞など燃えやすいものの近く
- ・周囲を囲まれた場所や、ミストが拡散しにくい場所
- ・暖房器具など他の熱源の近く
- ・吹出口から出る霧が直接、家具や壁などに当たる場所

- 加湿時には、使用環境によって周辺に水滴が付着したり、濡れることがあります。その際は、次のようにしてください。

- ・加湿量を少なくする
- ・室温が低い場合は、室温を上げる
- ・湿度が高いところでは使用しない



各部の名称

正面

吹出しノズル

吹出す霧を吸い込んだり、顔に当てたりしないでください。

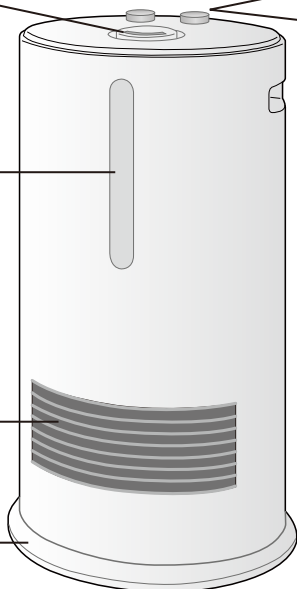
水位窓

水タンクの水の残量を確認します。

温風吹出口

ふさがないでください。

台座



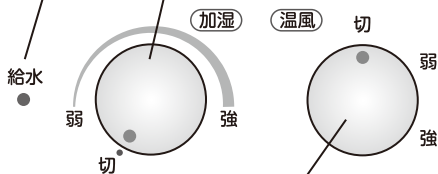
操作部

給水ランプ

点灯で水がなくなったことをお知らせします。

加湿ダイヤル

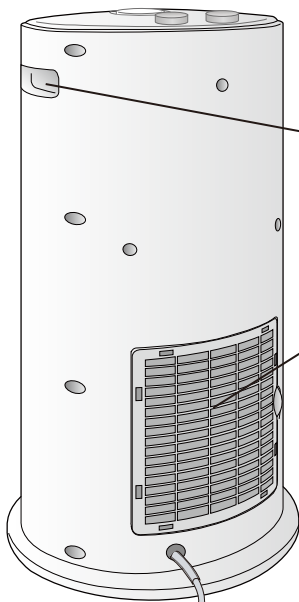
加湿量を調節します。



運転ダイヤル

温風を2段階に切り換えます。

背面



取っ手

左右にあります。

吸込口 (吸気フィルター)

- 1週間に一度はお手入れしてください。
- ふさがないでください。

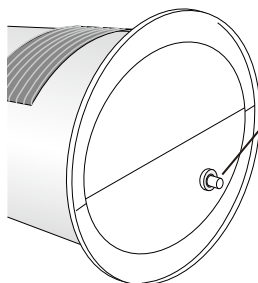
電源コード

- キズを付けないよう注意してください。
- 根元を曲げたり引張った状態で使用しないでください。

電源プラグ

必ず定格15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。

底面



転倒オフスイッチ

押された状態で通電します。

⚠ 注意

- 毛足の長いカーペットや平らでない床面に置くと、電源が入らないことがあります。必ず平らでかたい床面でお使いください。
- 転倒オフスイッチをテープなどで固定して本体を傾けたり、横にしたりして使用しないでください。転倒オフスイッチが作動せず、火災の恐れがあります。
- ときどきは、本体を浮かせて（傾けて）電源が切れることを確認点検してください。

各部の名称

吹出しノズル

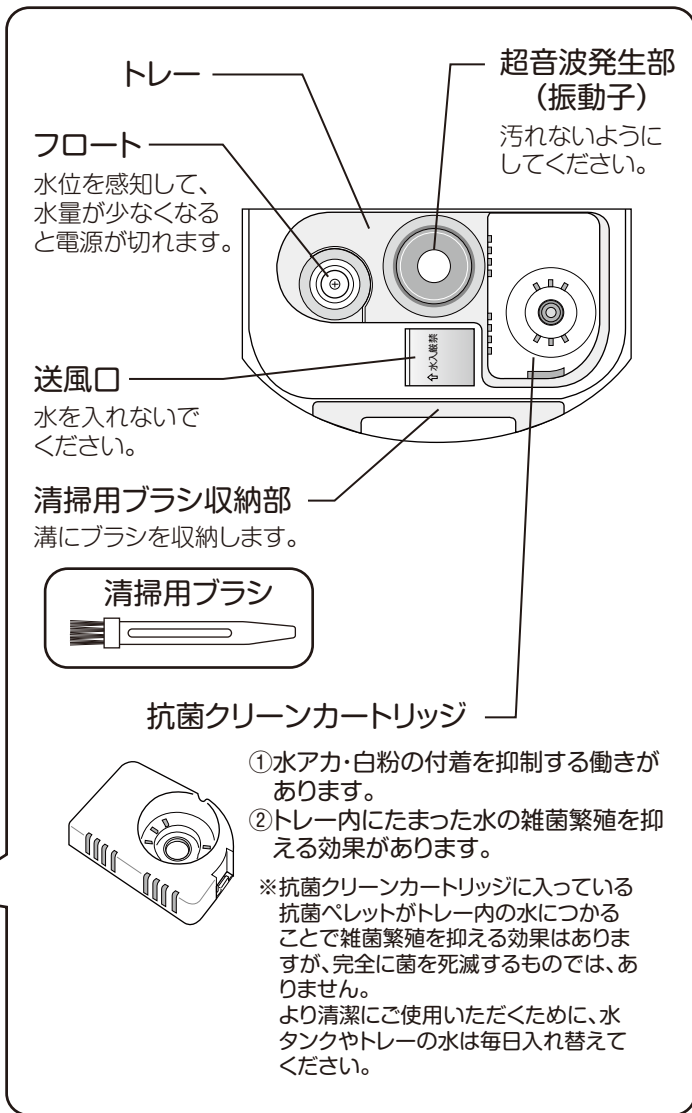
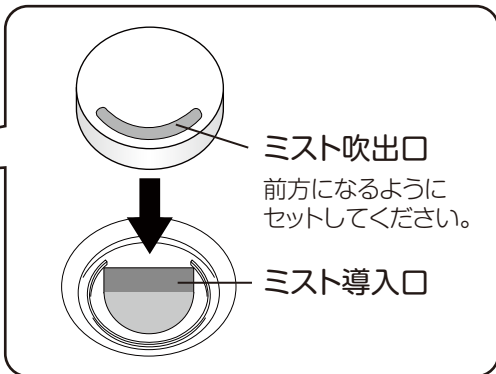
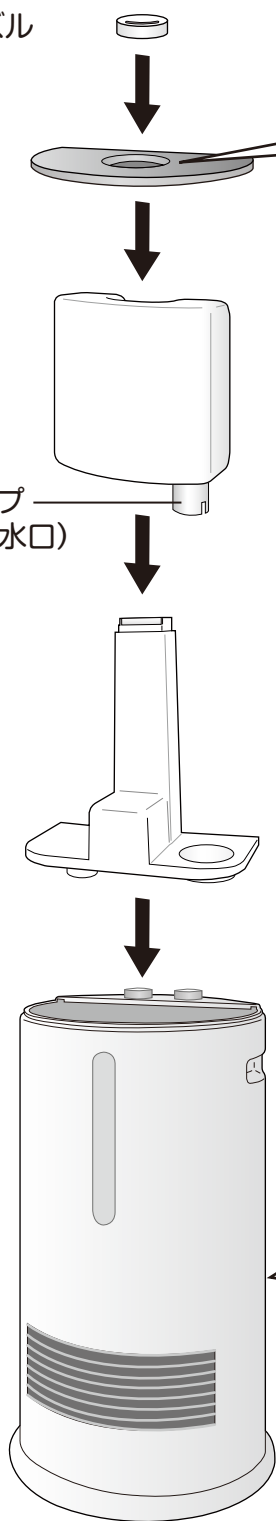
カバー

水タンク

キャップ
(給排水口)

ダクト

本体



準備

—水タンクへの給水—

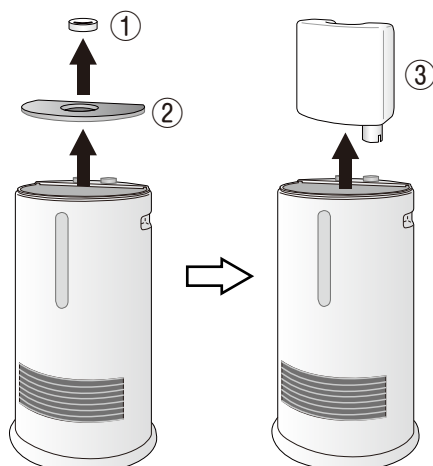
1 本体から水タンクを取り出す

本体から吹出しノズルを外し、さらにカバーを外して水タンクを引き抜いてください。



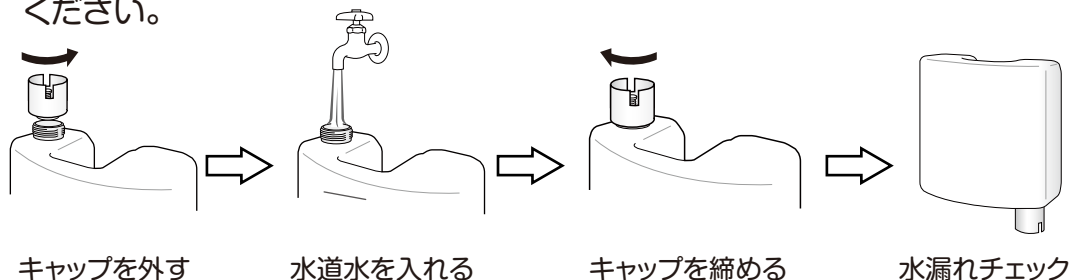
注意

水が残っているときは、ゆっくりと引きぬいてください。勢いよく取りだすと、水滴が垂れることがあります。



2 水タンクに水を入れる

- ① キャップを回して外し、水道水を入れてください。(満水線を超えないでください。)
- ② 元どおりにキャップを締めて、キャップを下にして水が漏れないか確認してください。



キャップを外す

水道水を入れる

キャップを締める

水漏れチェック



注意

次のような水は使わないでください。

- ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。
- 40℃以上の温水や化学薬品、芳香剤、アロマオイル、汚れた水変形や故障の原因になります。

3 水タンクをセットする

水タンクを本体に差し込み元通りセットして、カバーを取り付け、吹出しノズルを取り付けます。(カバーが浮かないよう注意してください。)

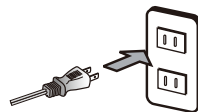
〔給水ランプが点灯したら〕

- 水がなくなると、給水ランプが点灯して加湿運転を停止します。
- 加湿運転を再開させたいときは、水タンクに水を入れてセットしてください。自動的に加湿運転が再開します。このとき、給水ランプは消灯します。

使いかた — 温風運転 —

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用して、延長コードは使用しないでください。
- 運転ダイヤルを「切」にしてください。

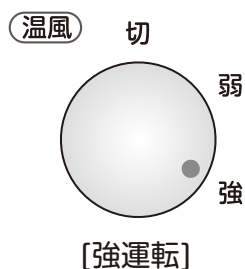
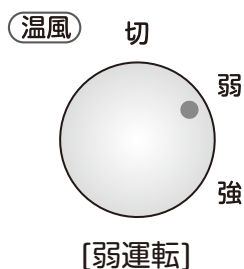


⚠ 注意

電源コードを束ねたまま使用しないでください。また、使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。発熱・発火の原因となります。

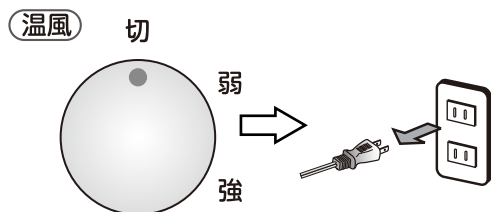
2 温風運転を始める

2段階に切り換えができます。お好みで調整してください。



※送風量（風速）は強弱とも同じです。

3 温風運転を終了する



運転ダイヤルを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使いかた —加湿運転—

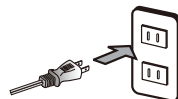
1 水タンクに水を入れる (P7参照)

水タンクに水道水を入れて本体にセットしてください。

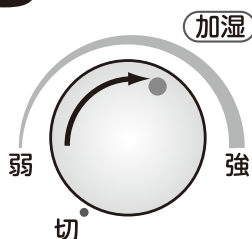


- 水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げないでください。必要以上に水が出てトレー内の水位が上がり、水漏れや噴霧量が少なくなったり、出なくなることがあります。このような場合は、水タンクを取り出し、トレー内の水を一度排水してから運転してください。
- 吹出しノズルを必ず取り付けて運転してください。付けずに運転すると水滴が飛び散り、床が濡れる原因になります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む (P8参照)



3 加湿運転を始める

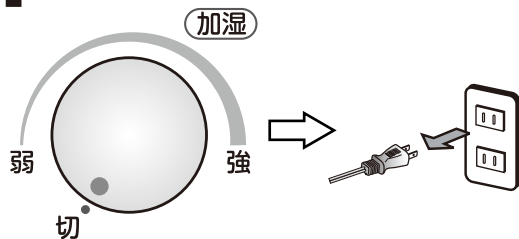


加湿ダイヤルを回して、お好みの加湿量にしてください。



給水 運転中に水がなくなると給水ランプが点灯してお知らせします。
水タンクに水を入れてください。

4 加湿運転を終了する



加湿ダイヤルを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

[加湿器周辺にできる白粉について]

加湿の際に発生する霧が蒸発すると、加湿器周辺に白い粉状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどミネラル分が固形化したもので、有害なものではありません。加湿器周辺で電気製品や精密機器を使用されたり、家具などの近くで使用すると発生した白粉によって電気製品・精密機器の故障や、家具などを傷める原因になります。白粉が発生した場合は、すぐに水に浸した柔らかい布をよくしぼってふき取ってください。

使いかた —温風・加湿運転—

運転ダイヤルを回して、お好みの温風にして (P8参照)、同時に加湿します。

お手入れ



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

1 本体のお手入れをする

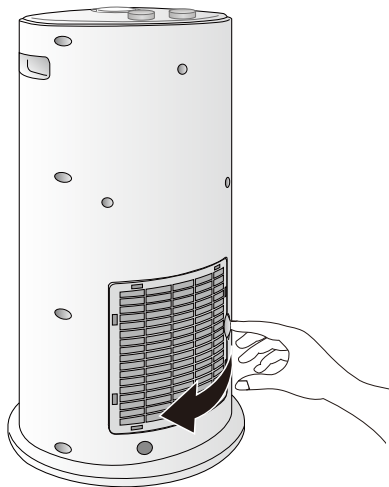
- 乾いたやわらかい布で軽くふいてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてから、乾いた布でふき取ってください。
- 温風吹出口にホコリなどがたまった場合は、掃除機で吸い取ってください。
※シンナー・ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。本体を傷める原因になります。

2 吸気フィルターのお手入れをする (1週間に1回程度)

- 吸気フィルターがホコリなどで目詰まりすると暖房性能が低下したり、故障の原因になります。定期的にお手入れをしてください。
- ホコリは、掃除機で吸い取ってください。水洗いはしないでください。目詰まりし、フィルターの機能が低下することがあります。
- 汚れがひどい場合は、フィルターを取り外してホコリを取り除いてください。

〔外しかた〕

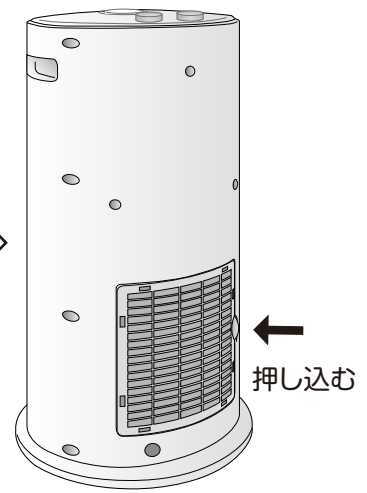
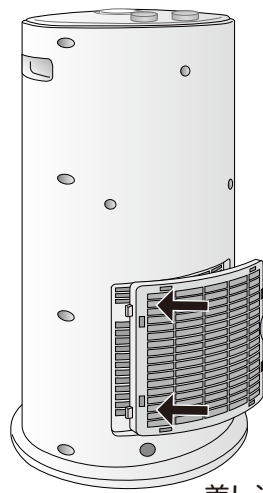
本体を押さえて、フィルター枠右部のふくらんだ部分を引っ張って外す。



〔取り付けかた〕

①フィルター枠左部の凸部 (2ヶ所) を本体の穴に差し込む

②フィルター枠右部の凸部 (2ヶ所) を本体の穴に押し込む



- 吸気フィルターなしで絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 吸気フィルターを熱湯で洗ったり、直火にあてて乾かさしないでください。変形、変質の原因になります。

3 吹出しノズル・カバーのお手入れをする (1週間に1回程度)

- 水を布に含ませ、固くしぼってふいてから、乾いた布でふき取ってください。
※お手入れをしないと水あかがこびり付いて取れにくくなります。

お手入れ



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

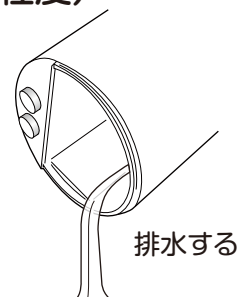
4 水タンクのお手入れをする(1シーズンに1回程度)

- 水ですすぎ洗いしてください。
- 使用期間中はタンク内部を常に清潔にし、毎日新しい水道水 と入れ替えてください。
- 水あかが取れにくいときは、給水タンクに台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯を入れ、ふって洗い、その後よくすすいでください。

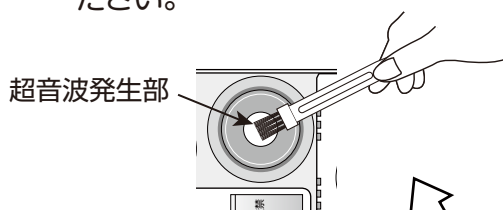
5 トレーなど内部のお手入れをする(1週間に1回程度)

※お手入れをしないと、水あかがこびり付いて取れにくくなります。

- 排水方向に従ってトレー内の水を捨ててから、布に水を含ませ固くしぼってふき、次に乾いた布でふき取ってください。

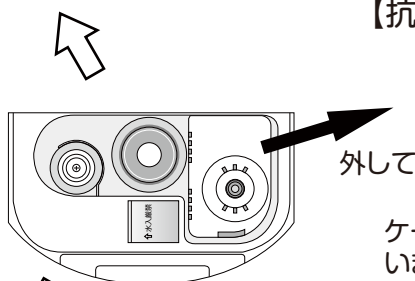


排水する



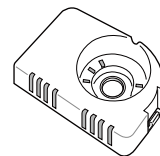
超音波発生部

清掃用ブラシで汚れを取り除いてください。



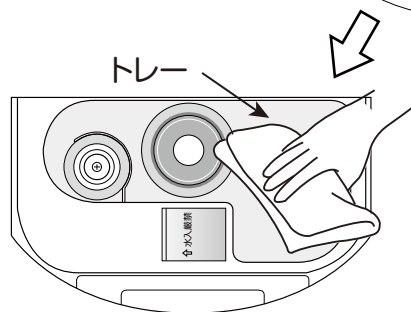
外して

【抗菌クリーンカートリッジ】



ケースの中に抗菌ペレットが入っています。ケースの目がつまってきたら、スポンジやブラシ等で取り除いてください。

■抗菌ユニットはご使用に伴い効果が低下します。1シーズンごとの交換をおすすめします。
(お買い上げの販売店でお求めください)



トレー

ダクト



警告

お手入れに塩素系・酸性系の洗浄剤を使用しないでください。
有毒ガスが発生して健康を害する恐れがあります。

[保管のしかた]

- お手入れのあと、本体や水タンクの水をふき取り十分に乾燥させてください。
- 箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ない直射日光の当たらないところに保管してください。



注意

電源コードをきつく束ねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
コードが破損し、火災や故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症 状	原因と対策
運転しない	●毛足の長いカーペットや凸凹のある床面で使っていませんか。 →転倒オフスイッチが働いて通電しません。 安定した平らな床面でお使いください。 ●電源プラグがコンセントから抜けかけていませんか。 →電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●配電盤のブレーカーが働いていませんか。 →原因を確認して、ブレーカーを復帰させてください。
電源プラグが熱くなる	●コンセントの差し込みが、ゆるくなっていませんか。 →ゆるくなったコンセントは、ご使用にならないでください。 ●タコ足配線をしていたり、コンセントの定格を超えていませんか。 →定格15Aのコンセントを単独で使用してください。 ※5ページを参考にしてコンセントなどの点検をしてください。
音がする	●水平で安定した場所に設置されていますか。 →安定した平らな床面でお使いください。 ●吸気フィルターがホコリなどで、つまっていませんか。 →10ページを参考にしてお手入れしてください。
温風が出ない	●吸気フィルターが目詰まりしていませんか。 →10ページを参考にしてお手入れしてください。
水タンクからボコボコと音がする	●水タンクに水が入っている場合は、トレーに水を供給する際、空気を吸い込む音で異常ではありません。
においがする	●水が古くなっていませんか。 →新しい水に交換してください。 ●使い始めは少しにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。
加湿量が少ない	●超音波発生部(振動子)が汚れていませんか。 →お手入れのしかた(11ページ)を参考にお手入れしてください。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、トレーや水タンクの水を捨て乾燥させてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

[点 検]

電源コード、電源プラグはときどき点検を行い、次のような症状を見つけたらお買い上げの販売店または、弊社お客様ご相談窓口にご相談ください。

- 電源プラグに焦げ跡がある。
トラッキング現象が始まっている可能性があり、危険な状態です。
- 電源プラグの刃が変形している。
- 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする。
- 電源コードの被覆に傷、亀裂、へこみがある。
- 電源コードの一部が熱くなる。

よくあるご質問

ご質問	回答
何畳の部屋まで暖まりますか？	最大約8畳までが目安です。 ※コンクリート住宅・断熱材ありの場合
温風運転のときの電気代はどのくらいかかりますか？	「温風強」運転時：約32円（1時間あたりの目安） 「温風弱」運転時：約16円（1時間あたりの目安） ※電気料金目安単価27円/kWhを基に計算しています。
加湿運転のときの電気代はどのくらいかかりますか？	約0.3円～約0.7円（1時間あたりの目安） ※電気料金目安単価27円/kWhを基に計算しています。
一日中連続で使用できますか？	連続で使用いただいてもかまいませんが、使用しない時や就寝時は、必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
温風のみで運転できますか？	加湿ダイヤルを回さない場合は、温風のみでの運転になります。
加湿のみで運転できますか？	加湿単独運転することができます。
ミスト吹出口に白いものが付いてしまった	ご使用にともない水道水のミネラル分が付着したもので、異常ではありません。ふき取ってご使用ください。
連続で何時間加湿できますか？	最大加湿時で約7時間です。

仕様

電源	交流100V 50/60Hz		
消費電力	1175W（温風ヒーター） 25W（加湿機能）		
本体寸法	幅250×奥行225×高さ450mm		
質量	約3.0kg		
電源コード長	1.8m	水タンク容量	約2.1L
最大加湿量	300mL/h		
安全装置	転倒オフスイッチ、サーモスタット、温度ヒューズ、電流ヒューズ		
付属品	清掃用ブラシ		

※加湿量は周囲の環境（室温・湿度）によって異なります。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。